スペシャル『MOTHER3』講座

糸井&岩田先生

風永インタビューふたたび

「『3』は今年中に出します」と現場監督岩田氏、堂々宣言!?

風のように永田(以下風永)　犬や子供に糸井重里のインタビューが任せられるか!!　そんなわけで、**朝7時の新幹線に乗って**京都までやって来たぜ。おっはよー!!

糸井、岩田　おはよ～。

風永　今日は40分しかインタビューできないらしいからガンガン行きますよ。まずは恒例の質問から。本当に今年中に出るのか!?

糸井　(笑)。まったくいつもいつも……。今日は現場監督がいるからな。さ、バシッと答えてやれ！

岩田　**今年中に出したい**ですね。

風永　またそれかい！

糸井　**出ることを希望します!!**

風永　大丈夫かなあ。

糸井　岩田がいますよ、岩田が！　なんせ『2』は、岩田が入ったら、とたんにできたからね。

風永　なるほど、それは心強い！

糸井　だろ？　そこで読者は思うわけだ。「**なんだよ、岩田が作ったのか**」って(爆笑)。

講師①　糸井重里

超有名コピーライターにして、『MOTHER』シリーズの生みの親。最近は"釣り師"として『糸井重里のバス釣りNo.1』の制作にも携わっている。

コントローラーを楽器にして音楽を演奏できる。だから、戦闘が楽しくてしょうがない

書き込めるというDDの特性を十二分に活かした柔軟なシステム

風永　え～、今回キャラクターの名前なんかが公開されましたが。

糸井　**俺がつけた。**

風永　**そりゃそうだろ。**

糸井　いいだろ？　この村のこいつが……**ん？　誰だこいつ!?**

風永　(爆笑)おいおい！

糸井　こんなの見たことないぞ!!

岩田　いや、見てますよ。これはまえ見せたのを加工してあるから。

糸井　あ、そうか。でもさぁ……**こういう路線かよぉ!!**

一同　(爆笑)

風永　え～、主人公は、この少年と考えていいんですか？

岩田　主人公、前作の倍いるんですよ。『3』は、基本的には**章だて**になってますから。オムニバスじゃないですよ。だけど章だてになってて、**章によって主人公が違う。**

糸井　あ、言っちゃった。これで楽になったよ。いままでずっと黙ってたから(笑)。

風永　ってことは8人？

岩田　8人以上いますね。

糸井　知らないほうが楽しいのに。

風永　いや、ホントにそうなんですよ!!　好きなゲームの取材するのって、ある意味すごくツライ。

糸井　そうだよなぁー。

風永　ホントなら、「いつ出るんですか？」とだけ聞いて帰りたい。

岩田　それじゃあ怒られますよね。

風永　そんなわけでさらに聞きます。64DDに対する手応えは？

糸井　ちくしょう、うめーな。

岩田　う～ん、やっぱ書き替えできるってことですね。『3』を作るにあたって、日本中で同じような冒険を同じようにやるっていうのは、もうやめたいってのがあって。

風永　それは、単純にマルチシナリオにするとかでなく？

糸井　とんでもない!!　大キライです、マルチシナリオって。**作り手の権利と義務を放棄してますよ。**

岩田　うん、だから、自分がその世界に残したものをなるべくちゃんと残しとくようなゲームにしたいんですよね。たとえば、なんか捨てたり置いたりするじゃないですか。何かに傷つけたりするじゃないですか。そういうことが残る。

糸井　**部屋散らかして旅行に行ったら、帰ってきたとき部屋散らかったままなんだよな。**

岩田　ええ、そういうことなんですよ。そうすると書き込めるDDってハードはピッタリなんです。

風永　なるほど。それでは、糸井さんがうわごとのように「スゴイ、スゴイ」とだけ言ってる、戦闘は？

糸井　失礼な(笑)。内容も言いた